

進路だより第2号：令和元年5月11日発行

佐賀県立唐津東高等学校 進路指導部
〒847-0028 佐賀県唐津市鏡新開1番地 TEL 0955-77-1984

志ある者は事竟に成る

「半端ない達成感」

進路指導部長 足立 喜治

「半端ない達成感」全校集会で話をしましたが、覚えている方はいますか？これは九大のオープンキャンパスでリケジョ（理系女子）講演会のときに耳にした言葉です。その女性はどこかの企業に勤めていましたが、ヘッドハンティングでアメリカの製薬会社「ファイザー」に勤めることになりました。その方は薬学部、農学部出身でもありません。それなのに世界有数の製薬会社に勤めていることにも驚きました。外資系の企業について興味深い話がありましたが、その話の中で薬を製品として世に送るのには長い年数がかかる（10年以上かかるそうです）が、薬が世に出たときは「半端ない達成感」を感じると話されました。世の中の役に立ち、そのような達成感を感じる。本当に素晴らしいことだなと感じました。ぜひ、みなさんにもそのような体験をしてもらえたらと思いました。そのためには自分磨きに時間をかけること。今年度の進路指導部も昨年同様、そのようなみなさんの力になればと思います。一年間、よろしくお願いします。

【進路指導部より】 「進路指導室へ行こう」

進路指導室を利用していますか。本校の進路指導室は、大学の過去問題を載せた赤本・青本や、個別大学模擬試験や全国模擬試験の過去問題集など、とても多くの資料を備えています。また、学部研究や職業研究に役立つ資料や情報誌も常に更新し、最新情報が得られるようにしています。3年生はもちろんのことですが、1年生や2年生も文理選択や学部学科選択のために役立つ情報を仕入れに来てほしいと思います。

<進路指導室常駐の先生>

部長：足立喜治（数学） 副部長：土井孝一（英語）
3年生：山下芳史（物理） 2年生：杉谷陽介（数学） 1年生：三根香織（英語）
中学：相森孝之（英語） 事務担当：門川貴美子

<進路指導室の具体的な利用法>

① 資料や過去問題の閲覧

進路指導室には膨大な資料が整理されおり、インターネット等では調べることができな

い情報も沢山あります。持って帰ることのできる資料もありますし（常駐の先生に尋ねよう）、過去問題等はコピーもできます。進路について調べたいことがあれば、進路指導室へ来てください。資料の一部を紹介します。

・仕事や学問の内容に関する資料

・大学等の学校案内や募集要項

・大学等の過去問題

本校の生徒がよく受験する学校については10年以上前の問題が保管されています。

・小論文対策の資料

小論文の書き方に関する資料だけでなく、小論文のテーマになりそうな話題についてまとめた資料も充実しています。

・先輩の受験レポート

面接で聞かれた内容や面接の形式について詳しくまとめられています。また、面接試験の経験を基にしたアドバイスはとても参考になります。

② 資料や進路や職業に関する質問や相談をしよう

進路のことで悩んだり、解らないことがあれば、担任の先生、そして進路指導室に相談に来てください。文系・理系の選択、学部や学科の内容、大学の特徴や難易度、学費や奨学金制度等々。相談をすることで自分の考えを整理することができ、今後、取り組むべきことや目標とすることなどをはっきり知ることができると思います。先生方が優しく丁寧に対応します。

◎進路指導室を利用する際には・・・

★大きな声で挨拶し、来室の目的を伝えましょう。

★進路指導室内の資料はコピーをすることが出来ます。（有料です。）

（貸出しができる資料もあります。持ち込みの資料のコピーはできません。）

★お客様が沢山いらっしゃいます。節度のある態度を心がけましょう。

東高学習会のご案内

8月17日（土）、18日（日）は東高学習会が実施されます。今回の講師は定松勝幸先生（数学）、荒木美希先生（英語）です。定松先生は代々木ゼミナールで30年間以上講師をされ、人気講師として有名な方です。いくつもの伝説を打ち立てて、まさに神授業と呼ぶに相応しい授業をされます。荒木先生は定松先生が高く評価している先生です。講義の後は先生方に質問しようと生徒が列をなし、落ち着くまで1時間以上はかかります。そんな神授業、一度は受けてみませんか？次はないかもしれません。2年生は1日のみの500円。3年生は2日の1000円です。6月の中旬から申し込み開始の予定です。

また、県の合同学習会も申し込み中です。3年生が7月14日（日）、2年生が8月18日（日）です。こちらの会場は佐賀大学（予定）です。

【今後の学習への心構え】

新年度が始まって1ヶ月が経ちました。今回は高校生みなさんに期待することを、各学年主任の先生方より挙げてもらっています。これを読んで今後の学習の参考にしてください。

高校3年生へ

(高校3年学年主任 宮原洋一)

「昨年度の進路だよりで、「受験は登山にたとえられます」と書きました。いよいよ高校3年生です。挑戦する山を決め、すでにトレーニング・準備を終わり、登り始めている人もいます。登頂をするためには、道案内やアドバイスをしてくれるガイド（先生）と一緒に切磋琢磨できる仲間（友人）が必ず必要です。受験は団体戦。あなたの行動がみんなに良い影響を与え、周囲の環境があなたに良い影響を与える。このような環境をみんなで作り上げたいと思います。山頂は遠くからは見えますが、山道を登っている途中は山頂は見えません。目標にむかい、一步一步着実に目標に近づく努力をしましょう。近道はありません。

「苦しい」と思う時こそ自分が成長している時です。この1年で、自分の生き方をしっかりと考え、自信をもって社会に羽ばたいてほしいと願っています。

高校2年生へ

(高校2年学年主任 池田真理)

「見える学力」と「見えない学力」という言葉があります。「見える学力」とは「氷山の一角」に例えられるように、学力全体のほんの一部のことをいいます。「見える学力」を支えているのは、その何倍もの「見えない学力」です。では「見えない学力」とは何か？それは第1に「言語能力」だそうです。人は思考するとき言語を使います。豊かな語彙力は論理性と複雑な思考につながります。国語はあらゆる教科の基礎といわれる所以です。ところがこの言語能力はすぐには身につかないものでもあります。だからといって諦めず、良質な文章をたくさん読んで語彙力を身につけましょう。「見える学力（海面上の氷山）」を高く大きくするためには、「見えない学力（海面下の氷山）」を鍛えて大きくすることが必要です。「言語能力」とともに、集中力や生活習慣、向上心を身につけることも必要です。学ぶ場は教室ではありません。部活動、家族との会話、地域活動等あらゆる場を学びの場に変えていきましょう。

高校1年生へ

(高校1年学年主任 古川貴史)

本格的に授業が始まり、3週間ほど経ちました。部活動に関しては早く入部された方は1ヶ月が経ったことでしょう。それらも含めた生活のリズムは確立しましたか。入学当初から

皆さんに伝えている「土台」づくりは着実にこなえているでしょうか。「土台」づくりの柱として掲げている「生活習慣、学力、将来に向けて」の3点について、学年ではさまざまな形で取り組みを進めています。ただし、受け身の姿勢で自らの「土台」を築くのではなく、自らが考え「こうありたい」、「こう生きたい」という思いを形にする過程で築いて下さい。具体的に繰り返しますと、生活習慣の土台づくりのために「①元気に学校生活を送る、②整理整頓を心がける、③時間を厳守する」、学力の土台づくりのためにまずは「授業を第一に学習に取り組む」、将来に向けての土台づくりのために「①明確な進路意識、職業意識を持つ、②コミュニケーション力を高める」ことを1年間、心にとめて学校生活を前向きに送ってください。

【高校1年県下学力診断テストの結果について】

右の表は、4月に高校1年生を対象にして行われた県下一斉学力診断テストの結果を、現在の高校2年生から今年の3月の卒業生までの学年と比較したものです。県下一斉模擬試験で自分の順位を把握することは、志望校への合格ラインの目安にもなります。文理で若干の違いはありますが、県順位の1000番～1200番くらいまでが国公立大学の合格ラインといえます。

1年生の皆さんは、今後もこのような模擬試験の結果から目を逸らさないで下さい。模擬試験で出来なかったところを復習し同じ失敗を繰り返さないことが、次の成功へとつながり確実に力となっていきます。上手くできなかったところは、次へのチャンスだと捉えましょう。

学年 県順位	現1年生	現2年生	現3年生	卒業生
	1年次4月	1年次4月	1年次4月	1年次4月
～ 50	6	6	7	5
～ 100	9	9	12	8
～ 250	29	19	27	20
～ 500	57	51	59	42
～ 750	79	91	90	70
～1000	109	120	116	106
～1250	140	150	146	131
～1500	165	173	172	159
～1750	184	190	191	187
～2000	201	204	204	207
本校受験者数	231	237	240	240
県受験者数	4850	4952	5274	5455

※保護者の皆様へ

ご質問・ご相談等ございましたら、遠慮なく学校までご連絡ください。